

## 初めてのゴール

平成十二年 度 四年 男児

「おねがいます。」

ポートカップ決勝リーグ予選の地区予選が始まりました。最初の相手は十坂小でした。まず、若浜は本間たくや君が一点を決めました。そして、後半が始まって、ぼくは「勝った。」と思いました。みんなもそう思ってゆだんしたのか、キックオフからずんずん行かれて一点取られてしまいました。そのまま同点でしあいが終わりました。「くやしい。」と思いました。次の一條小とのしあいも、同点でした。そうしたら、決勝リーグに行ける酒田のチームがわからなくなりました。でも、運よく決勝リーグ予選に行くことができました。

五月の三日と四日にしあいがありました。まず、三日になって、会場の宮野浦小に行きました。最初の相手は、大ほり小でした。聞いたことのない小学校なので、強いのか弱いかわかりませんでした。でも、油断はできません。

「おねがいます。」しあいが始まりました。ぼくは、何回かシュートをしましたが、「おいしい。」とか、「もうちょっと。」というものばかりなのでした。そのまましあいが終わわり、引き分けでした。終わりのあいさつをした後、応えん席から、

「がんばった、がんばった、わーかーはーま。」  
という声が聞こえてきました。ぼくは、うれしいような、悲しいような、わからない気持ちになりました。

次のしあいは、港南小とでした。港南小には、前に十点近く入れられたので、「がんばって勝とう。」と、ますます思いました。ところが、かんじんのゆい君が、おなかが痛いと言ったので、みんなびっくりしました。ゆい君は、こうげきミッドフィルダーなのでとてもこまりました。結局、ゆい君なしのまま、しあいが始まりました。

水たまりがたくさんあったので、転んだらびしょびしょになるしあいでした。ぼくはファールをされて、水たまりに入ってしまいました。前半の最後に、ゆい君が痛みをこらえてしあいをしました。若浜小は、前半で三点、後半

で三点を入れられて、六対〇で負けました。

「がんばった、がんばった、わーかーはーま。」と応えん席からまた聞こえてきました。「負けたのにありがとう。」と思って、また泣きそうになりました。

次の日、最初の相手は、おぎき小でした。去年のポートカップ優勝チームだと知り、「よし、がんばろう。」と思いました。でも、さすがに強くて負けてしまいました。

最後の相手は、松山小でした。ぼくは、

「おねがいます。」と、元気いっぱいに言いました。ぼくはいつも左トップなのですが、この時右トップのゆう君が、調子が悪かったので、右トップになりました。

前半、ぼくがコーナーキックからのこぼれ球をシュートしたら、ボールはそのままゴールに入りました。ぼくは、

「やったー、入ったよ、入ったよ、初めてだよ。」と、ゆう君に大喜びで言いました。続いて本間たくや君がドリブルでゴール前にもって行って一人で点数を入れました。

ハーフタイムになった時、みんなから、

「裕太、よかったぞ。」とほめられました。ぼくは、本当

にうれしくてたまりませんでした。

後半、ハンドをとられて一点入れられましたが、そのままあいは終わりました。若浜サッカー少年団は、四年ぶりに勝ちました。

ぼくは、おねをはって帰りました。